

# 平成30年度 学長裁量教育研究費について

## I 学長裁量教育研究費配分の基本方針と種類等

### 1. 配分の基本方針

- (1) 学長裁量教育研究費は、大学が本来持つべき教育・研究機能について着実な質の向上を図るとともに、長崎県の地方創生に寄与することを目的とする。より具体的には、教育の質向上への貢献、独自性ある高水準の研究の促進、大型の競争的外部資金獲得の増加、地域への貢献等を目的とする。
- (2) 交付の対象となる研究課題の種類は、「離島」・「東アジア」・「長崎の地域課題」・「挑戦的研究」・「学長が掲げる大学の目標に合致する研究」並びに「科研費獲得支援部門」を対象とする。
- (3) 研究体制として、学部横断的、長崎県（長崎県内の自治体・長崎県に出資を受けている外郭団体等も含む。（以下県等））あるいは他大学等の協力を得て行う研究であること、また研究成果について県等の施策への反映が可能な研究が望ましい研究体制として、学部横断的あるいは他大学等の協力を得て行う研究であることが望ましい。

### 2. 研究課題の種類と領域

- ①「離島」に関する研究
- ②「東アジア」に関する研究
- ③「長崎の地域課題」に関する研究
- ④挑戦的研究
- ⑤学長が掲げる大学の目標に合致する研究
- ⑥科研費獲得支援部門

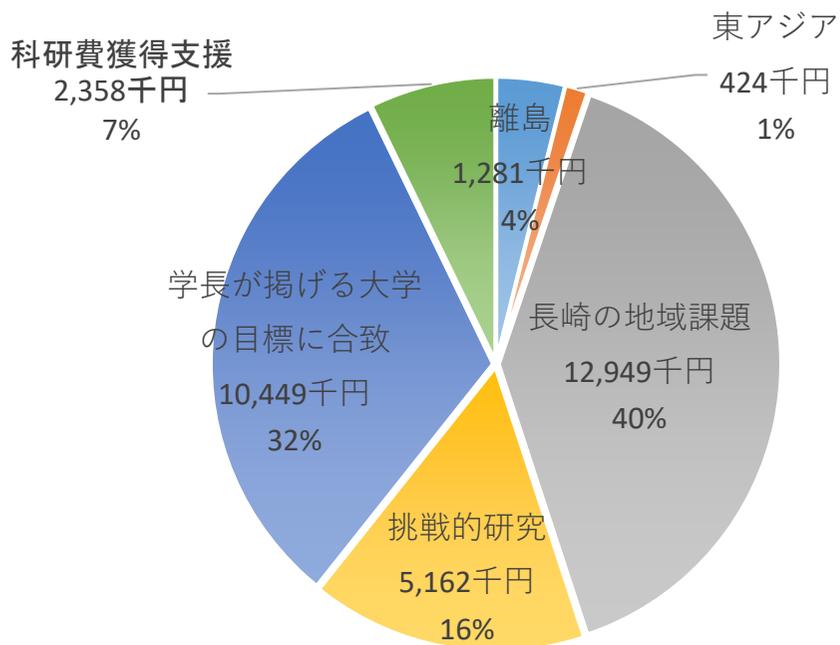
# 平成30年度 学長裁量教育研究費について

## Ⅱ 申請・採択状況及び採択研究課題

### 1. 申請及び採択状況

申請件数	申請額	採択件数	採択額
69件	72,066千円	59件	32,623千円

### 2. 採択研究課題



研究領域	件数	金額
離島	3件	1,281千円
東アジア	1件	424千円
長崎の地域課題	23件	12,949千円
挑戦的研究	8件	5,162千円
学長が掲げる大学の目標に合致する研究	19件	10,449千円
科研費獲得支援部門	5件	2,358千円
計	59件	32,623千円

# 平成30年度 学長裁量教育研究費 採択課題一覧

研究領域	代表者		研究課題
	所属	氏名	
離島	共同	看護栄養 稲垣佳映	離島農産物の非可食部分を用いたプレバイオティクス効果の検討
	個人	地域創造 松尾晋一	朝鮮通信使絵巻の基礎的分析と教育教材開発
		国際社会 福島涼史	グローバル法の拠点としての「離島」とその発展可能性
東アジア	個人	経営 江崎康弘	地方中小企業の東アジアへの事業展開の課題と対策に関する研究
長崎の地域課題	共同	看護栄養 田中一成	長崎県農産物の機能性解明と機能性食品開発
		経営 板垣太郎	観光資源としてのコンテンツの可能性についてのアクションリサーチ型研究 ～佐世保市における事例を中心に～
		情報システム 日下部茂	地域課題分析へのシステム思考アプローチの適用
		看護栄養 久佐賀眞理	ひきこもり等社会から孤立する人（世帯）への多機関による支援体制構築に関する研究
		看護栄養 湯浅正洋	長崎県活性化を目指した南島原産新タマネギの栄養機能性と呈味特性の解明
		看護栄養 堂下陽子	精神障害をもちながら子育てをする利用者に対する訪問看護師の支援体制の構築
		看護栄養 岡本恭子	糖尿病の発症と重症化予防に関する基礎研究

研究領域	代表者		研究課題	
	所属	氏名		
長崎の地域課題 (続き)	個人	地域創造	伊藤康貴	長崎県における若者支援システム構築の研究 —地域社会資源のネットワーク化を中心に—
		地域創造	寺床幸雄	長崎の農山村における地域活動の実践的支援に向けた研究方法の構築と展開
		地域創造	芳賀普隆	長崎県の再生可能エネルギー普及・活用に伴う地域活性化に関する研究
		情報システム	吉村元秀	「ひと」、「まち」、「もの」の連動を俯瞰する技術者育成に向けた長崎百景プロジェクトの推進
		看護栄養	松澤哲宏	長崎県産乳酸菌の簡易同定法および機能性に関する研究
		経営	宮地晃輔	長崎県ホテル産業人材のホスピタリティ・スキル継続的改善を目的とした「業務プロセスの視点」からの教育プログラムの構築 —長崎県と観光振興他地域との比較分析を基礎として—
		国際社会	森田均	地域社会における高度交通システム構築からメディア論へ新たな研究手法をもたらす試み
		情報システム	辺見一男	非接触型インタラクティブデジタルサイネージにおけるコンテンツのハンドリング手法に関する研究
		看護栄養	高比良祥子	肝疾患看護に関わる外来看護師のケアの臨床知に関する研究
		看護栄養	林田りか	乳児を育てる父親の育児に関する研究
		看護栄養	本郷涼子	長崎県の病院給食施設における「低菌食」の調理および食事基準に関する研究
		地域創造	鶴指眞志	長崎県における地域公共交通に関する研究
看護栄養	木村チヅル	住民主体型活動を行う高齢者の意識と活動過程		

研究領域	代表者		研究課題	
	所属	氏名		
長崎の地域課題 (続き)	個人	看護栄養	竹内昌平	買い物環境が地域住民の健康状態に与える影響についての縦断的調査
		地域創造	黒木誉之	市民自治・市民協働と地域ガバナンス -災害対応を中心として-
		看護栄養	石見百江	長崎県の地域住民に対する健康的な食行動プログラム実践に関する研究
挑戦的	共同	看護栄養	飛奈卓郎	健康長寿の秘訣を長期縦断研究から探る -坂の町に住むメリットの提案を目指して-
		看護栄養	永山千尋	楽しさを引き出す運動条件の検討 -地域住民の運動習慣の形成を目指して-
		情報システム	永野哲也	フィンスラー空間の非対称性を応用した新公開鍵暗号の具体例の構成
		看護栄養	吉田恵理子	青年期の吃音者が体験した悩みと、親に求めるソーシャル・サポートに関する研究-社交不安障害との関連-
		看護栄養	竹口和江	「産後の復職支援」の概念分析
		情報システム	松田健	時系列的に変化する幾何学的対象物の高速な不変量計算方法の確立
	個人	情報システム	C. ソムチャイ	情報の不正抽出を防止し、かつHTMLフォームの更新に自動適応するオールフィル機能の研究開発
		情報システム	吉田雅一	量子コンピュータに代表される量子情報処理の発展に向けた量子状態推定の構成方法の導出

研究領域	代表者		研究課題	
	所属	氏名		
学長が掲げる大学の目標に合致	共同	情報システム	加藤雅彦	個人情報漏えいの収集と分析に関する調査および研究
		情報システム	平岡透	情報システム学科におけるゼミ配属前の学生の研究力向上 -ビジュアルエフェクトを題材として-
		看護栄養	古場一哲	本態性高血圧モデル動物における黒大豆乳酸発酵物の血圧上昇抑制機能とその機序の解明
		看護栄養	駿河和仁	アルコール性肝障害発症時におけるビタミンA栄養状態の影響とその機序に関する研究
		地域創造	奥山忠裕	長崎県の潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産登録を見据えた国際行政施策の比較研究
		国際社会	田中弘恵	人工知能搭載英会話ロボットチャーパーを利用した日本人大学生の英語プレゼンテーションスキル向上のための実証的研究
		看護栄養	山口範晃	肥満マウスのビタミン摂取が脂肪組織のAMPシグナリングへ与える影響
		地域創造	綱辰幸	長崎県における地域イノベーションと大学の役割
		看護栄養	三重野愛子	看護技術初学者における技術修得パターンの解明
	個人	看護栄養	大曲勝久	我々が確立した非アルコール性脂肪肝動物モデルの汎用化に向けて
		看護栄養	倉橋拓也	ファインバブル加圧した微小油滴による食材機能成分の抽出と化学研究
		情報システム	藤沢望	高度な専門的知識を有する職業人育成のためのサウンドプログラミング教育の実践その2
		看護栄養	大塚一徳	ワーキングメモリ査定による高齢者の記憶の自己効力感変化と外的記憶補助利用の関連性

研究領域	代表者		研究課題	
	所属	氏名		
学長が掲げる大学の目標に合致（続き）	個人	地域創造	山崎祐一	地域連携による「英語が身につく街づくり」が、異文化共生と英語力改善に及ぼす効果
		看護栄養	永峯卓哉	アクティブラーニングの価値評価とグループワーク指向性の能動的学習への影響
		情報システム	松崎なつめ	多値カードを用いた秘密計算プロトコルの研究
		経営	石田和彦	演習等で使用するデータ教育用教材の作成
		看護栄養	四童子好廣	ヒト肝癌細胞における非環式ジテルペノイドGGAの極性代謝産物の同定
		看護栄養	坂本仁美	看護基礎教育課程における情報リテラシー獲得のためのアドバンストカリキュラムの開発
科研費獲得支援部門	共同	看護栄養	岡本恭子	ゲラニルゲラノイン酸（GGA）によるパイロンを介した細胞死誘導機構の解析
	個人	経営	宮地晃輔	日本の造船業における組織間管理会計の導入による採算性・受注力改善に関する研究
		情報システム	穴田啓晃	量子コンピュータの解析能力に耐えるプライバシー保護型証明システムの設計
		経営	谷澤毅	ハンザ衰退後のハンザ都市の博覧会と博物館
		地域創造	石田聖	ソーシャルビジネスにおける官民協働プロセスについての研究